

伊吹山

やまはな便り

8



伊吹山ネイチャーネット
ワーク事務局長
山下 吉和

重要植物

目立たない植物にも光を



伊吹山中での調査の様子

☑人知れず咲く植物

伊吹山には、人知れずひっそりと咲く植物があります。秋咲く花では、ヒナノキンチャク、マネキグサ、イブキコゴメグサ、イブレイジンソウ、チチブリンドウ、ホソバノツルリンドウなどです。これらは、よほど意識しない限り、人目に

絶滅の危機に瀕している植物と、その保護

つくことはありませぬ。本会では、長年にわたり、こうした重要植物の保護と調査に携わってきました。

☑折るように調査を

いま、こうした植物が絶滅の危機に瀕しています。元々の個体数が少ない上に、シカの食害、土壌の乾燥化、気候変動と集中豪雨等による土砂の流出、今なお採取や盗掘など人為的なものも含めていくつかの要因が考えられます。毎年、時期が来ると、「今年も無事に出席しますように」と祈るような気持ちで調査に入ります。

ヒナノキンチャクは、果実が「巾着」に似ることからついた花ですが、直径わずか3mmほどと小さく、雌のように愛くるしい花です。マネキグサは、招き猫の手に見立てた暗紅色の花です。イブキコゴメグサは、白色の小さな花が米粒に見え

る伊吹山の固有種です。

☑周辺の生物種と共に

こうした植物は、山頂の花々に比べると、とても小さく、決して華やかではありません。しかしながら、これらの植物が「消えて」しまえば、他の花にも同じことが起こり得ると考えるべきでしょう。

一度「消えた」植物は周囲の生育条件が整わない限り、再生することは困難です。保護の方法も、あらゆる生物種によって成り立っている生態系、いわゆる「生物多様性」の観点から、その個体のみを保護するのではなく、周辺の生物種と共に保護すべきと考えます。

いま、本会も調査報告や提言をしている「伊吹山を守る自然再生協議会」を中心に関係機関が知恵を出し合っ、保護に乗り出そうとしています。

ヒナノキンチャク



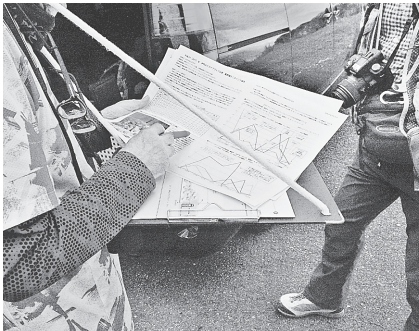
マネキグサ



イブキコゴメグサ



さあ調査へ



■…ひっそりと咲く花々…■